

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	地理学 B		
英文授業科目名	Geography B		
開講年度	2008年度	開講年次	1(2)年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	三宅 紀治		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
n.miyake@jcom.home.ne.jp	

【主題および達成目標】
<p>我が国の都市は、これまで様々な歴史的・社会的背景のもとで発達・変化してきたが、都市機能として望ましい例があるほか未解決の問題も存在する。それは都市ごとに異なっていたり都市共通であったりする。この授業ではそれらを理解、解決するために、歴史的背景を含めて現在の都市がどのような状況にあり、またどのような課題をもっているのかを主題として取り上げる。必要に応じて海外関連情報も導入する。</p> <p>私達が都市に関わる様々な問題を考える上で、自分自身が判断できる「基礎知識を身につける」ことを達成目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
授業中に配布する資料のみ

【授業内容とその進め方】

- (1)イントロダクション：授業の概要や位置づけなどを説明。
- (2)都市の土地形成：始めに、過去の長期にわたる気候 / 地形変化を全体的に概説する。続いて江戸臨海部の地形変遷や、江戸時代を主とした治水対策を述べるほか、江戸から現在までの臨海部の土地形成の目的 / 方法について江戸の大火など社会的背景を含めて解説する。資料として当時の古地図なども経年的に引用する。
- (3)身近な都市空間と課題：最近では地域の活性化が叫ばれ、魅力あるまちづくりを目的に、さらに少子高齢化に向けて様々な改善策が講じられている。都市（まち）に対する一般のイメージ、まちの個性 / 共通課題を述べ、個性を活かしたまちづくりの例をあげる。また、最近では都市空間においても自然環境の復元 / 創成が進み、より好ましい環境が比較的手近に作られつつある。さらに、わが国には歴史的に意義のある建造物が多くこれらを活かしてまちづくりを行っている地域もある。これらも含め現地に行けば誰でも目にすることができる身近な都市空間と課題について事例を取り上げ解説する。
- (4)我が国の社会資本の現況と課題：社会資本は基本的に公的予算によって作られるため、昨今の予算削減が話題にもなっているが、これまでわが国の発展を支えてきたことも事実である。このようにある面都市の発展に欠かせない社会資本に関して、社会資本整備の意義、歴史、先進諸外国との比較や国際競争力からみた我が国の整備状況、都市再生との関係でとらえた今後の社会資本のあり方などについて、具体的な事例を取り上げて解説したい。
- (5)都市活動に伴う負の環境問題と対応：現在の都市がかかえる過去も含めた負の環境問題として、都市活動の結果発生する廃棄物処理、ヒートアイランドなどの環境負荷、負の遺産として未だ課題の多いかつての広域的な地盤沈下、地下水・土壌汚染などについて対応方法を含めて説明する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- ・評価方法：授業内容から授業中に3回のレポート作成、ならびに後学期試験の結果から、次のように総合評価する。

$$\text{成績評価} = (\text{授業中レポートの評価点} \times 50\%) + (\text{後学期試験} \times 50\%)$$
 ただし、通常の出席を考慮する可能性もある。
- ・評価基準：授業中レポートでは授業内容の理解と自らの意見が提示できていること、また後学期試験を受けることが不可欠である。授業中レポートの提出のみあるいは後学期試験のみでは合格しない。

【オフィスアワー：授業相談】

なし

【学生へのメッセージ】

なし

電気通信大学 平成20年度シラバス

【その他】
なし